

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	36774
事業名	スクリーニング検査費					
評価担当課	所 属	保)衛生研究所 保健科学課			電話番号	011-841-7672
施策名	－					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	厚労省通知に基づく都道府県、政令市の事務であり、現在ではその根拠として、「母子保健法第5条・第18条 成育基本法」「成育基本法第11条に規定する成育医療等基本方針」がある。札幌市では国の通知の20より多い26疾患を対象としている。また、国は別に2疾患(脊髄性筋萎縮症と重症複合免疫不全症)を対象に加えることについて、検討を進めている。
	事業内容(何を実施し)	札幌市内の医療機関で出生した児を対象として、医療機関で採血された検体を用いて、先天性疾患の疑いの有無に関する検査を実施。医療機関と連携し、のちの治療とあいまって、知的障害、発達障害の発生を予防する。また、追跡調査等により事業の検査の精度を把握し、専門医との意見交換等により、検査精度の維持・向上を図る。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	事業の検査部分を委託する。また、委託前後を通じて、追跡調査等により、陽性反応的中率、感度、特異度等の科学的指標を把握し、事業のレベルを維持する。加えて、対象疾患に脊髄性筋萎縮症(SMA)と重症複合免疫不全症(SCID)を追加する。
	他都市の状況	千葉市、名古屋市、大阪市、堺市、広島市、熊本市では、すでに脊髄性筋萎縮症(SMA)と重症複合免疫不全症(SCID)の2疾患を、事業の対象に含めて予算化している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	21,102 千円	うち特定財源	4,894 千円	正規職員業務量	7 人工
令和5年度予算額	16,616 千円	うち特定財源	122 千円	正規職員業務量	6 人工
令和5年度決算額	15,245 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	6 人工
令和6年度予算額	17,977 千円	うち特定財源	23 千円	正規職員業務量	6 人工

指標	アウトプット活動指標1	新生児マススクリーニングの受検者数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		12,659	13,500	11,868	12,000	12,000	12,000
	↓						
	アウトカム成果指標1	新生児マススクリーニングの受検率				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		112.4	112	113.5	112	112	112
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	新生児マススクリーニングは、早期治療の効果の高さ、未治療例がもたらす経済損失の大きさ等から、全員が受検することで、最大の効果を発揮する。そのため、受検率が対出生数比で、100%を越える状況を維持しなくてはならない。					
	アウトプット活動指標2	妊婦甲状腺機能検査の受検者数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		4445	100				
	↓						
	アウトカム成果指標2	新生児マススクリーニングの再検査率				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1.3	1.2				
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	来年度以降、事業の検査部分を委託するため、民間の検査機関に技術移転を行っている。
来年度以降の方向性	R7年度から検査部分を委託化する。また、R7年度以降に、対象疾患に脊髄性筋萎縮症(SMA)と重症複合免疫不全症(SCID)を追加する。(2疾患の追加については、サマブレ調書7を提出済)